

琵琶湖部会一般意見聴取の会(2002.11.4 開催)結果報告
テーマ：あすの琵琶湖とその集水域の水管理に向けて

2002.11.8 庶務発信

開催日時：2002年11月4日(月) 13:30～16:30
場所：ピアザ淡海 3階大会議室
参加者数：委員8名、一般傍聴者74名

1 本日の試行の会について

本日の会の主催、琵琶湖部会一般意見聴取検討班三田村リーダーから淀川水系流域委員会の役割と本日の会の趣旨について説明が行われた。

2 一般からの意見発表と質疑応答

5名の発表者から各20分意見発表が行われた後、委員との質疑応答が各10分行われた。

服部健一氏

発表内容：瀬田川とともに歩んできた大津市大石地区(旧大石村)の紹介、水質向上の重要性、そのための住民意識の向上と下水道普及の必要性など

- ・若い時から今までの間、大石周辺の水質に大きな変化があったと思われるか。(委員)
子供の頃にはモロコなどが沢山釣れた。最近は外来魚は釣れるがモロコなどはほとんど釣れない、と聞いている。(発表者)

正田政郎氏(大津市議会議員)

発表内容：大戸川の洪水被害の歴史、大戸川ダム早期建設の必要性、中間とりまとめにおける治水理念の転換やダムに関する記載内容への反対意見、など

- ・中間とりまとめでは、ダムを完全否定している訳ではないことは理解頂きたい。(委員)
中間とりまとめの方向で進むとなると住民として理解できない面がある。住民の大半は大戸川ダムの計画を早く推進すべきと思っている。(発表者)

長田征利氏(大津市議会議員)

発表内容：田上山地域における土砂流出抑制策の重要性および総合的な土砂管理のため国による大戸川の管理一元化の要望など

- ・一元化という考えは分かるが、県による一元化もあり得るのではないか。(委員)
国に管理してもらった方が住民の要望に早急に対応頂けると考えている。(発表者)

横川正巳氏(滋賀県漁業協同組合連合会総務部長)

発表内容：琵琶湖のアユ漁の歴史と重要性、および琵琶湖の水質変化によるアユ漁への影響、提言とりまとめへの要望(今よりも水質の良かった昔を基準に考えてほしい)など

- ・水質の悪化について湖中で起こっている事例などがあればお教え下さい。(委員)
漁網の汚れが近年酷く、短時間でも汚れる場合がある、と聞いている。(発表者)

東郷尚氏(NPO郷土を愛する会)

発表内容：NPO活動の概要、中間とりまとめにおける河川レンジャーに関する賛同、野洲川河川敷の利用に関する提案、人々が川を守っていくことの重要性など

- ・河川レンジャーとして様々な利害関係の調整等まで行いたいと思われるか。(委員)
最近は道路や川の問題について、住民が参加しやすい気風が行政から出ており、住民の意識も変わってきている。そうなれば、責任感も生まれてくると思う。(発表者)
その後、三田村リーダーから意見発表者に対して「これまでの発表を聞かれて改めて意見を言われたい方は発言頂きたい」との提案があり、3名の発表者から意見が出された。

3 一般傍聴者からの意見聴取

一般傍聴者3名から「瀬田川にネット状のものを張り巡らせ、ゴミを取ることはできないか」「福井県の中池見湿地における取り組みの紹介」などの発言があった。

4 その他

三田村リーダーから全委員に対して「今回(11/4)と次回(11/9)の試行を総括し、より良い意見聴取のあり方について意見を提出してほしい」との依頼があった。

以上

このお知らせは委員の皆様主に決定事項などの会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。審議の主な内容については「結果概要」を参照下さい。